

基礎臨床統合教育コースの評価について（令和4年度）

◆本試験

※すべての合計値で60%以上の得点をもって当該ブロックを合格とする。60%未満は、再試験対象となる。

※アクティブラーニングについては、ブロックごとに異なる。

対象 学年	対象ブロック名	配点	評価内容・配点内訳	アクティブラーニングの配点内訳	アクティブラーニングの評価	確認テスト、 定期試験（総括試験）
2	呼吸器系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の得点	MCQ形式で実施する。
2	循環器系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（40点：20%） Body Interact（14点：7%） 学生がシナリオを作成するPBL（20点：10%） 薬理学実習（6点：3%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の得点 学生がシナリオを作成するPBL：グループごとにループリックにより評価 理学実習：実習での態度・積極性で評価する	薬 MCQ形式で実施する。
3	膠原病/血液/感染症系の病態・診断・治療	400	確認テスト（40点：10%） 定期試験（総括試験）（200点：50%） アクティブラーニング（160点：40%）	ジャーナルクリエイション（124点：31%） 症例検討（36点：9%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 症例検討：グループごとにループリックにより評価	MCQ形式で実施する。
3	消化器/肝胆膵系の病態・診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション（60点：20%） Body Interact（60点：20%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の演習回数と事後課題の提出	MCQ形式で実施する。
3	神経系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	PBLシナリオクリエイション（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	PBLシナリオクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の演習回数と事後課題の提出	MCQ形式で実施する。
3	尿路・男性生殖器系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（40点：20%） PBL（20点：10%） Body Interact（20点：10%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 PBL：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の得点	MCQ形式で実施する。
3	糖尿病・代謝・内分泌系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	薬理学EBM演習 態度・課題（40点：20%） 授業の態度・課題（40点：20%）	薬理学EBM演習：グループごとにループリックにより評価 成果物、準備態度、発表・質疑応答の積極性などの態度を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	皮膚・運動器系の病態・診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	1. ジャーナルクリエイション（60点：20%） 2. ジョイント講義に関するone minutes report（40点：13%）各科10点 3. 授業・実習（アクティブ・ラーニング）の出席、態度、パフォーマンスレベル（20点：7%）各科5点	1. ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表を、ループリックにより評価 2. ジョイント講義後に記載させるone minutes reportの点数 3. 出席点と実習のパフォーマンスの点数	MCQ形式で実施する。
3	女性医療系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の得点	MCQ形式で実施する。
3	精神医療系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	症候学・PBL授業の態度・課題（60点：30%） その他の授業の態度・課題（20点：10%）	成果物、準備態度、発表・質疑応答の積極性などの態度を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	小児系の病態・診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション20%（20点） 画像診断クイズ20%（2/2（小児科・小児循環器）、2/9（小児外科））の計2回、小児5点、小児循環器5点、小児外科10点の合計20点	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 画像診断クイズでの得点（筆記：20分程度）	MCQ形式で実施する。

基礎臨床統合教育コースの評価について（令和4年度）

◆再試験

※すべての合計値で60%以上の得点をもって当該ブロックを合格とする。

対象 学年	対象ブロック名	配点	評価内容・配点内訳	アクティブラーニングの配点内訳	アクティブラーニングの方法	総括試験再試験
2	呼吸器系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出、Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
2	循環器系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	body interact（80点：40%）	Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
3	膠原病/血液/感染症系の病態・診断・治療	400	総括試験再試験（240点：60%） アクティブラーニング（160点：40%）	ジャーナルクリエイション（80点：40%）	ジャーナルクリエイションの再提出	MCQ形式で実施する。
3	消化器/肝胆膵系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション（60点：20%） Body Interact（60点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出、Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
3	神経系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	PBLシナリオクリエイション（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	シナリオクリエイションの再提出、Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
3	尿路・男性生殖器系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（80点：40%）	ジャーナルクリエイションの再提出	MCQ形式で実施する。
3	糖尿病・代謝・内分泌系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	薬理学EBM演習、その他授業に関する口頭試問、課題の再提出（80点：40%）	口頭試問、再提出された課題を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	皮膚・運動器系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	1. ジャーナルクリエイション関連課題（40点：20%） 2. ジョイント講義に関するone minutes report再提出（40点：20%）	1. ジャーナルクリエイションの再提出 2. One minutes reportの点数	MCQ形式で実施する。
3	女性医療系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出、Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
3	精神医療系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	症候学、PBL、その他の授業に関する口頭試問、課題の再提出（80点：40%）	口頭試問、再提出された課題を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	小児系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（60点：20%） 画像診断クイズ（60点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出 画像診断クイズでの得点（筆記：20分程度）	MCQ形式で実施する。

※アクティブラーニング再試験については、本試験判定発表後、各ブロック教員が、再試験日までに実施する。（別途教員から学生に指示をする。）